



おてだま

OTEDAMA CLUB IN JAPAN

NO.

27

2008年 12月

特集「第2回近畿ブロック大会を開催して」

近畿ブロック大会実行委員会 北村義雄

国際交流「パリの国際会議でお手玉遊び!!」

おもちゃ図書館きしゃぼんぼ 代表 松山明子さん



●地域活動

- ・「伝統を受け継ぐ～お手玉遊び」
…愛媛県高等学校家庭クラブ研究発表大会に
日本のお手玉の会が応援参加
- ・「お手玉は脳にきく」
…和歌山のお手玉の会 会長 森勝代
- ・「ヨガ療法とおしなごの健康講座」(長野県飯田市)
- ・「第1回 お手玉遊び西予市大会」を終えて
…西予市お手玉の会 会長 宮本和朗
- ・2008年宮崎に「お手玉の風」が吹きました
…宮崎お手玉の会 会長 弘田和子

●連載 - 各地のお手玉歌

- ・「たんたんたいこ」

●本部からのお知らせ

- ・新支部の紹介
- ・本部事務局移転のお知らせ

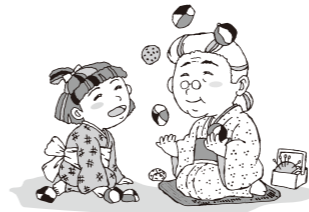
第2回

「近畿ブロック大会を開催して」

近畿ブロック大会実行委員会
北村義雄



個人戦 小学生の部 よーい、始め!



今大会最高齢チーム「はればれ会」のみなさん!



落としても 笑顔!!



神戸お手玉の会 10周年記念大会 盛大に開催!!

10月19日(日)秋晴れの下、神戸市須磨区内の青陽高等養護学校の体育館でお手玉遊び近畿ブロック大会を実施しました。今回の大会は昨年度の奈良の大会に引き続き2回目の大会となりました。神戸お手玉の会が結成して10年を迎えましたので10周年記念大会ともさせて頂いたいただきました。本大会の参加者は近畿ブロック11支部の会員と一般の方を含め約250名の方々が盛大に行うことが出来ました。

みんなの力が ひとつになった 大会でした

今回の大会を開催するに当たり数ヶ月前に近畿ブロックの支部長会議を行い、経費のかからない大会運営と開催支部の負

担を軽減するため、各支部が賞品代の応分の負担、審判員等の派遣、飾り用具の貸与などに協力するなどみんなで支え合う大会とすることになりました。

また、大会が終わってみて、無駄を省く反省点としてカラー刷りの多量のチラシをモノクロの案内書に切り替える、入賞者には賞状は交付するにしても賞品代は切り詰めるなどの工夫を行えば、開催支部にはほとんど金銭的な負担をかけずに行えそうですので、全国支部長会議などを通じて情報発信するようにしたいと思います。

お手玉が人と人の あたらしい出逢いを つくりました

さて、大会ですが兵庫県や神戸市から来賓のご出席を得て、本部からは藤田会長や今村師範代にお越しいただき開催しました。ブロック外から徳島県の勝浦お手玉の

会の殿川先生や島根県の高木さんらにも参加頂きました。

個人戦は約100名の申込があり、一般の部5種目、小学生の部3種目を行いました。一般の部で特色的なことは両手2個ゆりを競技種目に取り入れたことです。いつの大会でもほとんどお手玉が出来ない方がおられるのですが、そういう方にも少しでも競技を体験して頂くようにしたらとの提案が支部長会議でありましたので実施することになりました。おぼつかない手付きの方もおられました。真剣に競技をされている姿に感動し新鮮みもありました。

港地区お手玉の会の「漁火」が優勝し、神戸お手玉の会Aが準優勝しました。

ホームページや テレビ放映を おたのしみ

大会の様子はNHK神戸放送局の兵庫県域で放映されました。また、神戸お手玉の会のホームページでも動画で見ることが出来ます。また、来年1月には日本のお手玉の会の副会長の宮中雲子さんが出演されるNHKのおしゃれ工房という番組の中で大会の様子が放映されることになっています。是非ご覧ください。

笑顔がいっぱい!! たくさんの ドラマがうまれました

一般の部の両手4個ゆりの部では神戸お手玉の会の中学生の池内大貴君が優勝し、小学生の部では弟のしんご君が両手3個ゆりで準優勝となり、四国中央市から兄弟で参加の井原瞳さんや誠君が小学生の部の別々の競技で優勝や準優勝をしました。団体戦は一般の部27団体、小学生の部3団体で対抗戦を行いました。団体戦の最高齢団体は「はればれ会」で80歳代と90歳代の一般参加のチームです。ご高齢にもかかわらずなんと1勝!団体戦の優勝は豊岡市

みなさん ありがとうございました また開催したいですね

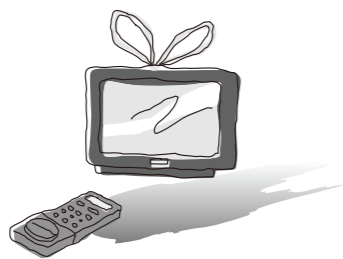
最後にこの大会開催にお世話になりました藤田会長はじめ本部の方々、近畿ブロックの各支部の皆様方、地元神戸お手玉の会や地域の方々に厚くお礼申し上げます。ありがとうございました。次回の大会は未定ですが、各支部長とご相談の上、是非開催したいものと思っています。



個人戦 一般の部



団体戦 一般の部
優勝「漁火」のみなさん



お手玉の木

国際交流 パリの国際会議で お手玉遊び!!

おもちゃ図書館きしゃぼっぼ
会長 松山明子さん

おもちゃ図書館の活動は、「障害児や地域の子どもが安心して遊べたら、どんなにステキなことだろう」と活動しているボランティアグループです。全国には、およそ500館あり、それぞれ各地で活動しています。今回は、平成20年10月13日から17日まで、フランス・パリで開かれた「第11回おもちゃの図書館国際会議」に参加してきました。この国際会議は、3年に1回、どこかの国で開催されており、今回は、2011年にブラジルでの開催が決定しております。日本からは、私を含めて7名が参加し、現地では25カ国、600名の人々が出席し、勉強をしたり、交流をしたり、とても充実した日々となりました。

「両手2個ゆり」お見事。続いて「片手2個ゆり」もお上手!会場から大きな拍手がおこりました。180人の参加者から笑いがあり、リラックスした雰囲気になりました。お手玉をゆつてくれたのは、和歌山県立医科大学脳神経外科教授の板倉徹先生です。

「お手玉遊びと脳の活性化」を開催いたしました。講演会の数ヶ月前から作ったお手玉を板倉先生にプレゼントしていただき、講演会の前に実技の披露をしてください、なごやかに講演会が始まりました。講演中、ご自身がポトグラフィをつけて、前頭前野(社会脳)が赤く光り、脳が活性化しているところや、ゲームをしている時の脳よりお手玉をしている時の脳が活発に活動していることを証明していただきました。お手玉遊びと脳の関係については、お手玉をしている時は、複雑な手の動きと、お手玉が上っている空間の動きを見るなど、高度に脳が働いていると詳しく説明していただきました。また、「97歳の現役医師 日野原重明先生の生き方を学べば、元

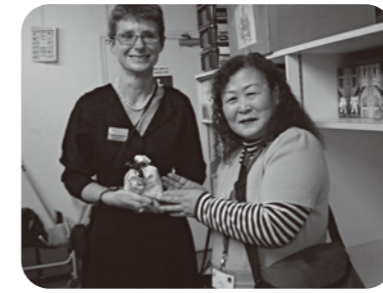
会議2日目、「手作りのおもちゃをととの心のふれあい」というワークショップを開き、日本の布の手作りおもちゃについての発表をしました。まずは、世界の子どもがニコニコ顔をして、エッフェル塔のまわりで手をつないでいるタペストリーを見ていただき、次に布の絵本とエプロンシアター、そして最後にお手玉遊びの紹介をしました。紹介の中でおおいに盛り上がった、お手玉遊びの様子をご報告します。



日本からの参加者が協力して安全なおもちゃの展示をしている風景

「お手玉遊びをしましょう」と声をかけ、「さあ、ウォーミングアップを始めましょう」と、指を折ったり伸ばしたりした後、お手玉を手を持ってもらい、上下左右、高く低く...とお手玉をゆり始めました。が、「何が始まるのだろうか?」と会場の人がじーっと私を見つめています。とってもドキドキしましたが、出発前に藤田会長さんに特訓していただいたことを思いだし、落ち着くことができました。私が体を左右にゆらし、リズムをとって無我夢中で続けました。両手2個ゆり披露に成功し、続いて片手2個ゆりをポーンポン。教えていただいたとおり「私は日本のチャンピオンです」とお話をすると、会場から大きな拍手がおこり、ホッとしました。本場の日本のチャンピオンの方には申し訳ないのですが、言葉の通じない外国で頑張っているということでお許しください。

「お手玉遊びをしよう」と声をかけ、「さあ、ウォーミングアップを始めましょう」と、指を折ったり伸ばしたりした後、お手玉を手を持ってもらい、上下左右、高く低く...とお手玉をゆり始めました。が、「何が始まるのだろうか?」と会場の人がじーっと私を見つめています。とってもドキドキしましたが、出発前に藤田会長さんに特訓していただいたことを思いだし、落ち着くことができました。私が体を左右にゆらし、リズムをとって無我夢中で続けました。両手2個ゆり披露に成功し、続いて片手2個ゆりをポーンポン。教えていただいたとおり「私は日本のチャンピオンです」とお話をすると、会場から大きな拍手がおこり、ホッとしました。本場の日本のチャンピオンの方には申し訳ないのですが、言葉の通じない外国で頑張っているということでお許しください。



見学したパリのおもちゃ図書館の方にもお手玉のプレゼントをしました

愛媛県立 新居浜東高等学校 家庭クラブの研究発表大会に 日本のお手玉の会が 応援参加

テーマ
「伝統を受け継ぐ〜お手玉遊び〜」

平成20年8月20日(水)愛媛県新居浜市市民文化センターにおいて、「第55回愛媛県高等学校家庭クラブ研究発表大会」が開催されました。地元新居浜東高等学校の生徒さんによる、素晴らしい発表があり、ほんの少しお手伝いをさせていただきました。

研究発表に備えて、お手玉の歴史や効能、現代の生活とのかかわり、そして技の訓練に何度も何度も、日本のお手玉の会へ熱心に通ってこられました。

当日参加した、会場の200人の学生さん一人一人に、自分たちで製作したお手玉を配り、日本のお手玉の会のメンバー数人と共に、1個、2個、3個と、舞台上で指導と技の披露をしました。

時間も終盤に近づき、有志の方も含め大きく輪になってお手玉演舞♪ジェンカ♪で楽しさを満喫しました。

最後にお手玉を架け橋として、多くの国の人々との国際交流を図り、形や遊び方が違っても「お手玉を貴重な文化財として後世に伝えていきたい」と熱く語り、幕を閉じました。

お手玉は 脳に効く 和歌山のお手玉の会 会長 森勝代



和歌山県立医科大学
脳神経外科教授 板倉徹先生

「両手2個ゆり」お見事。続いて「片手2個ゆり」もお上手!会場から大きな拍手がおこりました。180人の参加者から笑いがあり、リラックスした雰囲気になりました。お手玉をゆつてくれたのは、和歌山県立医科大学脳神経外科教授の板倉徹先生です。



楽しい講演会場の様子

講演の後、参加者全員でお手玉一つでも楽しく遊べる、誰でもできる手軽な遊び方をし、お手玉遊びの楽しさを体験しました。会場の180人の

方々がお手玉遊びをできたことは、とてもうれしいことでした。お手玉遊びの輪が広がってくれることを願いながらの取り組みだ。和歌山のお手玉の会が発足して3年目の講演会を、このように会員はじめみんなの力で成功させることができ、日本のお手玉の会の全国の仲間のみならず、日本の交流で学んだことを生かすことができ、仲間のみなさまに感謝いたします。

ヨーガ療法と おしなごの 健康講座



講演の前に準備体操
大地に足裏をつけ、その場歩き

長野県飯田市にて

おしなご(お手玉)とヨーガは、それぞれ技術の方法や理論、内容は異なりますが、年代性別等に関わりなく、楽しみながら心と体をバランス良く整えていくことによって、健康の回復と維持増進を図るという面において、相通じる共通点を有しており、この二つの基本的な知識と実技を同時に学んでいただき、一層の健康を守るきっかけにしてほしいとの目的で平成20年9月13日(土)、長野県飯田市にて開催されました。

- ### 参加者の声をいくつかご紹介いたします。
- 先生のお話は、わかりやすくユーモアがあって、ありがたいお話で、また聴きたいです。
 - 先生の人柄がよく出ていて涙がこぼれました。また久しぶりに笑いました。
 - お手玉は脳の活性化にとっても良いことが改めてよくわかりました。
 - お手玉の活動をされていること、すごいな。遊び方すっかり忘れていましたが、これからは、いただいたお手玉を使って脳を鍛えたいと思います。
 - とても楽しく、ためになるお話でした。お手玉遊びの紹介(実技)がよかったです。
 - 改めてお手玉の力がわかり、たくさんの方と交流ができました。

講師は、いきいき健康教室東洋医学研究所豊田代表の久野未耶子先生と信州おしなごの会会長の篠田啓子さんです。はじめに、おしなごの歴史と効能からはじまり、遊び



アラッ!!ちよっと
まちがったかな

- ### 感想をいただきましたのでご紹介いたします。
- 老若男女関係なく、ヨーガ療法とおしなごの健康ジョイント講座で、心と体の癒しの講座になったと思います。
 - 脳の動きとおしなご...って、ピンツとこなかったのですが、参加してみると、すごく面白かったです。
 - 一つのやさしい技から昔なつかしいおさらりまで、みなさんの目が輝いていました。笑顔と感動に感謝いたします。
 - 幼少の頃、お手玉遊びを少しやりましたが、こんなにいろいろな遊び方があるのかと感動しました。
 - ホツとする講義でした。参加したみなさんの笑顔が印象的でした。

方や技、おしなご遊びから学ぶものなど篠田さんの講習があり、続いて久野先生の、ヨーガの意義や心と身体を整える呼吸法などのヨーガ療法講習がありました。講習を聴いているだけではなく、実際に会場のみなさんも一緒に体を動かしながら、とても充実した時間だったようです。みなさんも健康増進のため、取り入れてみてはいかがでしょうか?

「第1回お手玉遊び西予市大会」を終えて

西予市お手玉の会
会長 宮本和朗

「お手玉遊びの楽しさや喜びを届けるために」藤田会長、今村師範代がご指導に来町くださった想い出深い「宇和町米博物館」講堂で大会を開催いたしました。大会に先立ち、藤田会長から心温まるご祝辞と激励のメッセージの祝電を頂戴いたしました。大変ありがたく厚くお礼申し上げます。本部からの力強い励ましにスタッフ一同は感激し、大会の成功を誓い合いました。そのため「大会企画実施フロー」(開催時間2時間)目的を明確にしました。お手玉を通じて感動・楽しさ・コミュニケーション・伝承文化を伝えることをテーマとし、小学生・シニアの世代交流を図りました。準備不足で中高年層が主体となりました。企画内容については、まず、会員によるお手玉遊びのスキルを参加者に指導しました。



個人戦の様子(宇和町米博物館)

全体のフロー

- ① 受付・グッズ販売
- ② 開会式(オープニング)
- ③ オリエンテーション
- ④ ウォーミングアップ
- ⑤ 個人戦(全員)
- ⑥ 会員による演技披露
- ⑦ 団体戦
- ⑧ 全員がジエンカで演舞
- ⑨ 表彰式
- ⑩ 閉会式

全員、揃いのTシャツを着用して参加者を笑顔で出迎えました。会場は明るい雰囲気、久しぶりに出会った人と人との交流が始まりました。館内は、笑顔と話し声でいい意味での騒々しさの輪が広がっていました。あちらこちらでゆり玉がはじまり、落としてもみんな楽しそうでした。

上甲副会長のユーモアあふれるウォーミングアップの指導が始まり、脳と体の準備運動、みなさん動きがごちなく、笑いの輪が館内にひろがりました。そんな雰囲気の中、全員参加で個人戦が始まり、緊張する選手を囲んで会場は拍手と歓声で盛り上がり熱戦が繰り広げられました。団体戦は6チームの参加がありました。本番になると1回目、2回目をまわしたところで落とす人、最後まで頑張る人、表情だけでも選手の真剣さや緊張感が伝わってきました。勝負は厳しいが終わった後は、お互いの健闘をたたえ合う握手は、どなたも笑顔でとてもさわやかでした。その後、全員が笑顔で輪となり♪ジェンカ♪に合わせてお手玉演舞、軽やかなメロデーが館内に流れると、みんなの思いが一つになり、楽しい2時間もあっという間に修了となりました。開催にあたりましては、各団体のみなさまのご支援で無事終了することができました。

2008年宮崎に「お手玉の風」が吹きました

宮崎お手玉の会
会長 弘田和子



みんなでお手玉!ポーンボン!(平成20年1月26日)

2008年 お手玉台風! 宮崎上陸!

一年を通じて、街中が花いっぱいなのは宮崎、日南海岸や青島、鬼の洗濯板などの観光地、日本神話のふるさとでもあり、巨人軍やホークスなどプロ野球やJリーグのキャンプ地、そして有名な知事さんのおかげで全国に名前を知られ、県庁が一大観光地になった宮崎、そんな宮崎に今年「お手玉」のすばらしい風、お手玉台風が上陸し、多くのお手玉ファンが生まれました。

懐かしくて新しい遊び、楽しく生きるための大切な遊び...お手玉遊び

私が初めて藤田会長や今村師範代とお会いしたのは、福岡での「お手玉遊び指導者講習会」でした。レクリエーション活動で「指導いただいたいる佐藤靖典先生から「お手玉ってすごいよ」と紹介され、福岡まで飛んでいきました。お手玉に興味はあっても、昔ながらのお手玉遊び以外は思いつきません。お手玉だけで2日間もおもしろいのかしら?と思いつながら参加しました。講習会で次々に繰り出されるお手玉遊びや演舞、愛好者の多さにびっくりし、これは確かに「懐かしくて新しい遊び、楽しく生きるための遊び」だと確信しました。そして、宮崎でもいつかこのような講習会を開きたいと構想5年、2008年1月26日、やっとその夢をかなえることができました。夢は願ひ続けられませんか!本当ですね。待ちに待ったうれしい一日の始まりでした。

第1回 お手玉遊び指導者養成講習会

2008年1月26日、宮崎お手玉遊び指導者養成講習会を開催。新聞に開催記事が出ると、「こんな会を待っていました」「お手玉をしたいとずっと思っていました」「今から楽しみたい」となどとうれしい電話が何度も鳴り、その関心の多さにびっくりしました。当日、春田智明副会長は、お手玉の歴史と競技会の開催方法について話され、今村シメ子師範代は技のオンパレードと演舞、50名の参加者はすっかりお手玉のとりこになりました。早速段位認定審査

連載 各地のお手玉歌 クローズUP

「たんたんたいこ」の伝承について

DVD付き
歌とリズムで伝承あそび
「お手玉・まりつき・ゴムとび」
田中邦子 著
株式会社一声社 発行

たんたんたいこ

おんみいなおまくらかえして おすててばらり
しおんな(4回)しおんなあーめ
あーめ(5回)あめのおですこ
おんですこ(4回)おんたいびつき
びつきすめ(4回)びつきのおーしゃ
おーしゃらんず(4回)おーしゃらんずおんにん
おんにんがえしやおんにんもおかし(4回)
おつかいしよ
どどかいしよ(4回)どどかいおもどこ
おもどしぼった(4回)ぼったもかくさこ
かくさんおはよう(4回)
おはようも儀
一儀 二儀 三儀 四儀
四儀もて儀 一儀 二儀 三儀
たんたんたいこころだい
あぶらのたいこタン(4回)
おしまい



言葉の意味
*おでんすこ...かたつむり
*びつき...かえる



お手玉段位認定審査 合格しました!!
(平成20年5月)

予約に走りまわりました。以来、テレビや新聞などに取り上げられ、イベントのお手伝いやボランティア活動、講習会や集いの開催と、次々に企画やイベントを依頼され、会員は自分の技を磨く暇がないと贅沢な悩みを訴えます。この活動を通じて多くの愛好者の方々と知り合うことができ、仲間の年齢の幅も地域も広がり、交流の大きな輪ができました。一つひとつ手作りの「小さなかわいなお手玉」は、お手玉遊びの楽しさづくりはもちろん、仲間づくり、健康づくり、大いに役立っています。

宮崎は「じゅす玉」の宝庫

緑あふれる自然いっぱいの宮崎には、うれしいことに、まだまだ川辺にじゅす玉がたくさんあります。先日、東京の方に「じゅす玉」の話をしました。それは何?とまったく通じませんでした。身近にもう見るこゝとができなくなってしまうのでしょうか?私は、10月になると今年は何り取られたいないだろうか?と心配しながら秘密の場所に向かいます。そして田んぼのあぜ道一面に黒い実が見えると、本当にうれしくな

宮崎で...いつかきつと

レクリエーションの世界から生まれた宮崎お手玉の会ですから、レクリエーションの心(生きる喜びづくり)を根底にこれから活動していきたいと考えています。一人より二人、そしてみんなで楽しめる「コミュニケーション」を大切にしたいお手玉遊びを通じて「お手玉愛好者」が、また、人と人を結ぶあたたかな交流のお手伝いができる「お手玉遊び指導者」が、私たちの周りにたくさん生まれる事を願っています。そしていつの日か、宮

崎で全国大会を開くのが私の夢です。心から願えばきつといつか夢はかなう、そんな日を楽しみながら今日もお手玉で遊んでいます。



お手玉を使って地元の総踊りに参加(平成20年7月26日)

第57号 宮崎支部「宮崎お手玉の会」
会長／弘田和子

第58号 各務原支部「各務原お手玉の会」
会長／安達保子

第59号 高松支部「高松おじゃみの会」
会長／磯崎洋子

第60号 観音寺支部「大野原お手玉クラブ」
会長／合田智子

★本部事務局が移転いたしました。

日本のお手玉の会の本部事務局は、平成20年11月25日(火)より新しい事務所での活動を開始いたしました。

新しい事務所は、新居浜市の市街地の中心部にある「新居浜市商業振興センター(愛称:銅夢にいほま)」内に開設いたしました。みなさまお気軽にお立ち寄りください。

移転に伴いまして、住所、電話番号、FAX番号、また休日や活動時間が下記のとおり変更になりましたので、お知らせいたします。ホームページ、e-mailのアドレスは変更ありません。

所在地

〒792-0013 愛媛県新居浜市泉池町10番1号 ドーム銅夢にいほま内

TEL

0897-32-0302 **FAX** 0897-32-0311

E-mail

tamachan@otedama.shikoku.ne.jp
※先にお送りしました移転通知書に記載しておりました、メールアドレスが間違っておりました。正しくは上記の通りです。訂正してお詫び申し上げます。

ホームページ

<http://www.shikoku.ne.jp/otedama/>

休日

水曜日・土曜日・日曜日・祝祭日

活動時間

平日(月・火・木・金) 10:00~15:00



ドーム銅夢にいほま

年末年始の
休館のお知らせ

【休館】

2007年12月27日(土)

↓

2008年1月4日(日)

5日より
活動いたします。

『表紙の解説』

おめでたい縁起のよいお正月のお手玉を並べてみました。

- ① うしのお手玉
- ② 獅子のお手玉
- ③ 子守りお手玉
- ④ 松ぼっくり
- ⑤ 風船お手玉
- ⑥ けまりお手玉
- ⑦ ややお手玉
- ⑧ ねじりお手玉



【発行・編集】

日本のお手玉の会

〒792-0013 愛媛県新居浜市泉池町10番1号 ドーム銅夢にいほま内

TEL/0897-32-0302・FAX/0897-32-0311

E-mail:tamachan@otedama.shikoku.ne.jp

ホームページ：<http://www.shikoku.ne.jp/otedama/>